

1. 件名

楽曲「ハイ・タッチ～やっちのテーマ～」を寄贈いただきました

2. 内容

八千代市出身の作曲家をはじめ、本市に縁のある音楽家の方々によって自主的に「やっちのテーマ」の「ハイ・タッチ」を制作していただき、寄贈していただきました。

題名：ハイ・タッチ～やっちのテーマ～

歌唱：m@ya

作詞：m@ya 石井裕介（株式会社ころざし音楽工房）

作曲／編曲：石井裕介（株式会社ころざし音楽工房）

マスタリング エンジニア：伊藤輝昭（音家）

アドバイザー：大西あゆみ（やっちフレンドクラブ）

監修：松尾貴臣（株式会社ころざし音楽工房）

～制作者からのメッセージ～

『八千代市が更に素敵な市となること、やっちがもっと全国へ知ってもらえることを願って、この楽曲を八千代市へ寄贈いたします。市のイベントや様々なシーンで使っていただき、地域活性化へ役立てていただけたら幸いです。』

3. 今後の展開

制作者からのメッセージにもあるように、市のイベントや様々なシーンで使用するとともに、市民の皆様にも多くの場面で使用していただくため、楽曲をHPに掲載するなど広く周知を図りたい。

4. 添付資料

ハイ・タッチ～やっちのテーマ～提案資料

5. 問い合わせ先（住所・電話・担当課等）

電話：047-483-1151（内線 2331～2333）

担当課：八千代市総務企画部 総合企画課 企画政策班

ハイ・タッチ ～やっちのテーマ～

提案資料



自分が生まれ育った街のために、自分の仕事で今何ができるのか

私、石井裕介は八千代市で生まれ、八千代市で育ちました。
作曲家として様々な仕事に携わり、アーティストへの楽曲提供と並行して
音楽での地域活性化を目指しこれまで地域のイベントテーマソングや
記念歌を作成する活動をしてきました。

これらの経験を活かし、自分の故郷である八千代市に
何か音楽で役に立てる事はないかと考えていた所、
リレー・フォー・ライフちば2015へ誘われ15年ぶりに八千代市民体育館へ行き、
体育館の壁に飾られていたやっちの顔の展示作品を見て
八千代市のイメージキャラクター「やっち」の存在を知りました。

その時に本曲の制作を思い立ち、
身の周りの”八千代市に縁のある音楽家”に声をかけ
故郷の八千代市への恩返しとして楽曲を残したいという気持ちと
八千代市をもっと広く知ってもらうために活用して欲しいという願いを込め
それぞれの八千代市でのエピソードや思い出をヒントに楽曲を作成しました。

それが「ハイ・タッチ～やっちのテーマ～」です。

ハイ・タッチ ～やっちのテーマ～

バラの香りに誘われるまま やってきた新川のほとり
ゆらゆら橋の向こうからきた子どもたちに 手を差しだしてこう言った
「友だちになろう！」

やっち やっち みんなの声を
キャッチ キャッチ したいんだ
見知らぬ僕を仲間に入れてくれたね

やっち やっち 仲間はずれの
ぼっち ぼっち 見つけたら
声をかけよう「ふるさと音頭」踊ろう
僕たちは 友達さ ねえ やっち！

すれ違ってく制服姿 いつかの僕と君みたい
ふるさと祭り 運動公園 気になるあの子と待ち合わせ恋花火
懐かしい日々よ

やっち やっち 次の世代へ
タッチ タッチ したいんだ
大事な街をみんなで守りたいよね

やっち やっち この街のいいとこ
ウオッチ ウオッチ 見たいんだ
他の誰よりこの街を愛している
鳥でもない 猫でもない

やっち やっち みんなの声を
キャッチ キャッチ 出来たら
この街のこと もっともっと好きになれるよね

やっち やっち まだ見つかるから
あっち こっち 歩き続けて
今日も明日も探そう 僕たちの住む未来
この街に恩返し 鳥でもない 猫でもない やっち！

歌唱：m@ya(マヤ)

作詞：m@ya(マヤ) 石井裕介(株式会社ころざし音楽工房)

作曲 / 編曲：石井裕介(株式会社ころざし音楽工房)

マスタリング エンジニア：伊藤輝昭(音家)

アドバイザー：大西あゆみ(やっちフレンドクラブ)

監修：松尾貴臣(株式会社ころざし音楽工房)



イシイ ユウスケ
石井 裕介



制作チームの紹介

本曲において発案、作詞、作曲、編曲、歌唱以外の全ての楽器演奏を担当。
八千代市に生まれ育ち、三愛幼稚園、八千代台東第二小学校、八千代中学校、
八千代東高校出身。高校時代に東葉サマーコンサートへ過去3回、やちよミュージックフェスタへ
過去2回出演経験を持ちわいわいテレビにて放映される。やっちフレンドクラブ会員。
両親も八千代中学校出身、父親は現在萱田町にて自動車板金工場を営む。
八千代市の好きな所は「Cafeふくろう」「惣菜屋 潮田」「エポラ通り」

略歴

株式会社ころざし音楽工房所属の作曲、編曲家。13歳の時にギターと出会いバンド活動開始。
高校時代は2年生にしてフォークソング部部長を務める。音楽の専門学校卒業後は、バンド活動と
並行しギター講師の仕事や、BGM制作、音楽教材の執筆も担当。2010年自身が所属するバンド
「Tell a Secret」が島村楽器主催バンドコンテスト HOTLINE2010にて全国応募総数2700組の中
から優勝、音楽誌「Player」に掲載される。

現在は楽曲制作を主軸としシンガーやアイドルへの楽曲提供、稲森寿世など他アーティストのサ
ポートギタリストと並行して音楽での地域活性化を目指す活動へ力を注いでおり、船橋市非公認
ゆるキャラふなっしー公式応援ソング「なし汁ぶしゃっしゅしゃー」へギター演奏で参加、千葉
ゆめスポーツフェスティバル公式ソング「Oh Yeah!!!!」の編曲、千葉県鴨川市天津神明宮式年
鳥居木曳祭テーマソング「むすび」の編曲、船橋ミュージックストリート2015の審査員を担当。
2015年10月に楽曲提供した千葉県芝山町の60周年記念ソング「Wish～希望の足跡」の動画が公
開され、同町観光大使のAKB48永尾まりやを初め年齢職業問わず地域総出でダンスを披露し動画
公開後わずか1周間で再生回数が5千回を越え、AKB関連記事や千葉日報等県内各メディアに取り
上げられる(楽曲は芝山町のホームページより無料ダウンロード可能)。

2015年12月、元The Sketchbook 多田宏の新プロジェクト”Swift”の楽曲「Overture」
の作曲編曲(作詞は多田宏との共作)を担当し、湘南国際マラソンのテーマ曲の一つとして採用され
音楽配信アプリEggsにて視聴回数5日間連続1位 を獲得。

マツオ タカオミ
松尾 貴臣



制作チームの紹介

本楽曲制作において、各工程での制作補助・監修を担当。

2010年より八千代市で開催されているがん患者支援イベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパンちば」では第1回目から実行委員を務め、テーマソング「希望の歌」を作詞作曲。2015年、八千代市総合体育館で行われた同イベントでのステージ出演の際にサポートミュージシャンとして石井裕介を招き、やっちと出会うきっかけを作った。また、八千代市社会福祉協議会との連携により2010年から八千代市内の病院・高齢者施設・障がい者施設への訪問コンサートを行っている。

1979年4月17日長崎市生まれ、千葉市在住。音楽活動家。千葉大学大学院在学中にCDデビュー。

2007年から「資本主義から感動主義へ」をスローガンに、自身のキャラバンカーにて全国47都道府県1周ツアーを開始。年間300本以上のライブを行い、地道にファンと販路を開拓しながら「全国唱覇(しょうは)」を達成。各地のメディアに報道される。

2008年には「不況が続く音楽業界において、これからのミュージシャンの新たな道を拓きたい」という想いからマネジメント会社「株式会社こころざし音楽工房」を設立。

自らが代表を務め、後進の育成に力を注いでいる。

また、本業の傍ら音楽を通じた社会貢献活動にも力を入れており、全国の病院・福祉施設での「ホスピタルライブ」や、教育現場や講演会場での「ゲストティーチャーライブ」など、「歌う坂本龍馬プロジェクト」を展開。公演回数は全国で2000回を超え、その活動が認められ2009年から「高知県観光特使」に就任している。

近年ではNHK、BSジャパンなどのテレビ番組での特集に加えアンパンマン作者「故・やなせたかし氏」からのCDジャケット画の提供や、「クラウン徳間ミュージック」から初のメジャー作品を発表するなど、社会派のシンガーソングライターとして注目を集めている。

Photo by Keisuke Hirose

イトウ テルアキ

伊藤 輝昭(音家-Otoya-)

制作チームの紹介

本曲製作時の機材提供、音質最終調整であるマスタリングを担当。
現在も八千代市在住、出身校は八千代台東第二小学校、八千代中学校、八千代東高校出身で石井と小中高の同級生で、八千代中学在校時は第50代生徒会長に就任。
八千代市の好きな所は「京成線から見る八千代市と習志野市の市境」
「八千代台東3丁目の歩道橋」

略歴

2004年、ミュージカル劇団の音響スタッフとしてキャリアをスタート。
翌年より同劇団音響部ツアーチーフに就任。その後同社内チーフエンジニアも兼任。全国47都道府県での公演実績を持ち、全国の主要ホールを中心に年間100~160ステージのオペレート・プランニングを行う。
2009年の退団後、音響会社等での活動を経て2011年、フリーランスのエンジニアとして再始動。
演劇集団OLIMITの専任音響や、アーティストサポートやライブハウスでの音響業務を主軸とし、2014年自身の活動母体である「音家-Otoya-」を立ち上げる。
京都の染物ブランド「LeatherBag&IndigoDye 零-rei-」とのコラボレーションや、作曲家とのタッグチームのプロジェクトなど、音響家としての既成概念に囚われず人に寄り添う音響を志軸に活動。

Live Sound Engineer
Around the Live and sound design ,
and activities in the sound house name than in 2014 .



m@ya(マヤ)

※m@yaの写真掲載は控えさせていただきます。

制作チームの紹介

本楽曲において歌唱と、歌詞の一部を担当。中学高校と京成線を利用し通学していたため、八千代台駅周辺で頻繁に遊んでいた。ユアエルムにテツandトモを見にいったのが初めての八千代市体験。閑静な雰囲気と特急が止まる便利さ、そしてユアエルムのゲスト収集力に魅了される。

八千代台のカラオケでオリジナルの「なんでだろう」と中島みゆきさんの「空と君とのあいだに」を絶唱。その時快く受け入れてくれた友人たちの懐の広さもあり、本格的に八千代台愛が芽生える。ユアエルムやフルルガーデンからの花火はデートの定番コース。淡い記憶に溢れている街。当時の茶道の先生も八千代市在住だったためお茶会も八千代市で経験。実家を出る際、まず頭に浮かんだ街が「八千代台」で実際に八千代台に住んでいた経験がある。八千代市で好きな場所は「やまとの湯(現ほっこり湯)」「トリアル」「ふるさと祭り&花火」「5piatto」「八千代台駅近くの公園の桜の木」

略歴

フリーのシンガーソングライター

幼い頃からピアノやエレクトーン等を習い、作曲や編曲の基礎を学ぶ。

渋谷幕張中学校・高校を卒業後、早稲田大学に入学。(中退)

学生時代はバスケットボールや駅伝に明け暮れていたため一時的に音楽から離れる。何かを表現することへの情熱が捨てきれず20歳頃から本格的に音楽活動をはじめ。

ソロでのピアノ弾き語り、バンドでの活動を経て

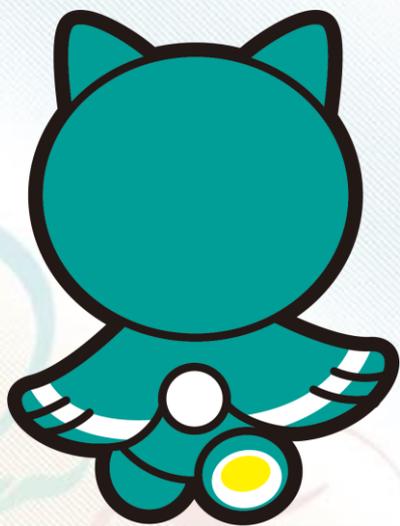
現在は仮歌・作詞・作曲・編曲等の制作中心の活動を行う。

2014年はロンドンハーツ等のテレビ番組で活躍中のアイドルで女優の、丸高愛実さんをはじめいくつかの現場でキーボードや編曲、作詞等も担当した。

2015年より仮歌の仕事を開始。

お題をもらって曲や歌詞を作ること、歌うことが好き。

最近は「声」の表現を勉強中。



微力ではございますが、
その未来に八千代市が更に素敵な市となることを
やっちがもっと全国へ知ってもらえることを願って
この楽曲を八千代市へ寄贈致します。
もし気に入って頂けたら、
市のイベントや様々なシーンで使って頂き
地域活性化へ役立てて頂けたら幸いです。
最後までお付き合い頂き、ありがとうございました。